



SCIENCE AGORA 2019

Human

in the New Age

-どんな未来を生きていく？-

サイエンスアゴラ2019

協賛金趣意書

目 次

1.	主催者挨拶	3
2.	サイエンスアゴラ 2019 の概要	4
3.	募集要項	6
	サイエンスアゴラ 2019 協賛申込書	8

1. 主催者挨拶

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より科学技術振興機構（JST）の活動にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

世界はいま、知識や価値の創造プロセスが大きく変貌し、経済・社会の構造も大きく変化する、「大変革時代」とも言うべき歴史的な大転換期を迎えています。2015年には「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連で採択され、その認知度はわが国においても徐々に高まりを見せていますが、貧困、エネルギー、気候変動、資源、ジェンダーなど、解決が求められる課題は依然として山積しています。持続可能で希望に満ちた未来社会をつくりあげるため、課題解決に積極的に取り組んでいくことは、わが国を含む全世界で対応しなければならない問題です。

課題を解く鍵として、科学技術イノベーションに強い期待が寄せられています。しかしながら、複雑に絡み合うこれらの諸課題へは単独のセクターの取組だけでは対応できません。政府機関やアカデミアだけでなく、エコシステムを支える産業界、そして課題に直面する一般市民を含めた多様なステークホルダーが「共創」を推し進め、それぞれが持つ知恵と力を結集して、総合的な観点から取り組んでいく必要があります。

JSTは2006年より、社会と科学とをつなぐ取組として「サイエンスアゴラ」を開催しています。第14回目となる「サイエンスアゴラ2019」では、「Human in the New Age -どんな未来を生きていく?-」というテーマを掲げました。AIをはじめとする情報技術が想像を超えたスピードで進歩する中、人間の在り様はどう変化していくのか、我々はどんな未来社会を目指すのか、その実現のために科学技術をどう活用していくのかを皆さんとともに考える場としたいと考えています。また、SDGs達成への貢献に向けて今年度創設した「STI for SDGs」アワードの授賞式を開催するなど、課題解決に資する好事例を紹介し、そのさらなる発展を促進する場とも位置づけています。

また、今年は「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言」（いわゆるブダペスト宣言）が世界科学会議で採択されてから20年にあたります。同宣言では、21世紀の科学の責務として、それまでの「知識のための科学」のほか、「平和のための科学」「開発のための科学」「社会における科学と社会のための科学」という4つの概念が示され、科学技術の社会に対する責務が初めて明確化されました。この節目の年に、改めて「社会における科学と社会のための科学」とはいかにあるべきなのか、皆さまとともに考えて参りたいと考えています。

「サイエンスアゴラ2019」をより充実した取組とし、所期の目的を達成するためには、JSTの力だけでは不十分であり、皆さま方のご理解とお力添えを賜り、ともに共創の場をつくりあげていくことが必要と考えております。そのため、サイエンスアゴラの趣旨にご賛同いただける方々からのご協賛を広く募ることといたしました。

ご賢察のうえ力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和元年6月

国立研究開発法人 科学技術振興機構 理事長



濱口道成

2. サイエンスアゴラ 2019 の概要

◆サイエンスアゴラとは ※アゴラ (agora) は古代ギリシャ語で「広場」の意味

サイエンスアゴラとは、あらゆる人に開かれた“科学と社会をつなぐ広場”です。異なる分野・セクター・年代・国籍を超えた関係者をつなぎ、さまざまな人たちが各地で主体的に推進する活動を伝え合い、学び合い、助け合う場です。多様な価値観を認め合いながら、対話・協働を通じて、これからの「社会とともにある科学」と「科学とともにある社会」の実現を目指します。

◆サイエンスアゴラ 2019 のテーマ

Human

in the New Age

-どんな未来を生きていく？-

あなたは、科学技術の開発がさらに進んでいるであろう未来に、どんな暮らしをしていきたいですか？ 望む未来に必要な技術とは？ 機械や新技術に委ねたくない人間性とは？ **サイエンスアゴラ 2019** では、**そもそも人間とは何なのか、自分は何を選びたいのか、目の前のものをどう使いたいのかを、さまざまな視点から考える機会を提供します。**

平成から令和に変わった 2019 年は、新たな時代を考える契機となる年です。国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）と国際科学会議（ICSU）が共催した世界科学会議での「科学と科学的知識の利用に関する世界宣言（ブダペスト宣言）」から 20 年が経過し、改めて「社会における科学」「社会のための科学」のあり方に焦点が当てられる年でもあります。さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックは日本の科学技術を世界に発信する機会となります。グローバルな目線で様々な社会課題を見つめ直し、科学技術が何を実現できるのかを、参加者みんなと一緒に考えませんか。

参考：「Human」を考えるにあたり意識したいイベント

2019 年	G20 大阪サミット (6 月 28 日～29 日)
	第 7 回アフリカ開発会議 (TICAD7) (8 月 28 日～30 日)
	第 2 回世界防災フォーラム (WBF2019) (11 月 9 日～12 日)
	World Science Forum 2019 Budapest (11 月 20 日～23 日)
2020 年	成長のための栄養(N4G)サミット 2020 (仮称)
	2020 年東京オリンピック (7 月 24 日～8 月 9 日)
	2020 年東京パラリンピック (8 月 25 日～9 月 6 日)
2025 年	2025 年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)

◆サイエンスアゴラ 2019 からの「問い」(公募の際の募集テーマ)

サイエンスアゴラ 2016 以降、会場に設置した「ご意見募集ボード」を通じて、新しいロゴに対する意見や、科学技術に対する期待などの声を集めてきました。今年の問いは、昨年の分析結果をふまえ、**サイエンスアゴラ 2019** で話し合うトピックとして設定しています。

参加者全員で考えたいことを 4 つの「問い」として会場に掲げます。「Human」をどういう方向から考えるかの指標としてください。出展企画は、いずれかの問いに紐付けて紹介されます。

- 1) 人間らしさって、なに？
- 2) 人とのつながりは何を生み出す？
- 3) 人類が抱える課題にどう立ち向かう？
- 4) 未来に向かって何をすればいい？

昨年の「ご意見募集ボード」に寄せられたコメントを分析した結果、「人間らしさ」や「人とのつながり」について知りたい、考えたい、と思う人が多いことがわかり、1) 2) の問いを設定しています。3) は国内外の様々な社会課題をどう解決するかという視点で、4) は「こういうことができれば便利だけど科学技術で解決できる？」という自由な発想で、よりよい未来を作るために科学技術は何をしたらいいか、科学技術に何を期待するのかを考える契機にすべく、設定しました。これらの問いに基づき、多くの方と対話することで、新たな視点を獲得し、未来への一步を踏み出すきっかけとなれば幸いです。

◆サイエンスアゴラ 2019 開催概要

会期： 2019年11月15日（金）～11月17日（日）／10:00～16:30（予定）

会場： テレコムセンタービル（メイン会場）、日本科学未来館（セレモニー会場）、シンボルプロムナード公園（ウエストプロムナード）（お台場・テレコムセンター駅（ゆりかもめ）周辺地域）

主催： 国立研究開発法人科学技術振興機構

参加者： 小中高（児童・生徒）、高専・大学（院）（学生）、企業関係者、大学/研究機関関係者、行政関係者 など

共催： 一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

協力（予定）：株式会社東京レポートセンター、株式会社フジテレビジョン、国立大学法人京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab

後援（予定）：内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、日本学術会議、国立研究開発法人理化学研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人国立大学協会、日本私立大学団体連合会

3. 募集要項

3-1. 協賛プラン

名 称： サイエンスアゴラ2019協賛金

協賛金額： 1口 100,000円（税込）とし、何口でも承ります。

- ※ サイエンスアゴラ2019の趣旨、テーマ、コンセプト等にご賛同いただいた上でご協賛ください。
- ※ 一旦納めていただいた協賛金はいかなる理由がありましても、ご返還にはお応えできません。
- ※ 事務局では、事業の性格を鑑み、協賛をお申し出いただいた場合であっても、次の内容を含む場合はお断りさせていただきます。
 - (1)政治性のあるもの
 - (2)宗教性のあるもの
 - (3)風俗営業等に関するもの
 - (4)その他実行委員会が適当でない判断するもの
- ※ 協賛と同時に出展をご希望の場合、数社連名でのお申し込みを可能としております。
- ※ 協賛金の多寡に関わらず、協賛していただきました企業様からのサイエンスアゴラに対するご意見などをお待ちしております。頂戴しましたご意見はサイエンスアゴラ推進委員会や事務局で検討のうえ、活用させていただきますたく存じます。

3-2. 協賛企業様のメリット

1. 無審査での出展機会を確保(アゴラの趣旨に鑑み、企画内容を調整させていただく場合がございます)
2. パンフレットや配布物を通じた御社の商品やサービス、社会活動の認知度向上
3. 未来社会を創り出す「共創」や「SDGs」に深い関心のある企業としてのアピール
4. 科学コミュニティ、政策関係者、国内外の有識者とのハイレベルなネットワーキング機会の提供
5. 興味あるブースや未来館を巡るオリジナルツアー参加

特典：

協賛クラス	プラチナ（10口以上）	ゴールド（3口以上）	パール(1口以上)
出展	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 1企画（セッションorブース）確保 ▶ 主要セッション登壇等、露出機会 	1企画（セッションorブース）確保	—
ロゴ掲載 プログラム・公式WEBサイト・メイン会場受付案内板・フォトスポット	大	中	小
映像放映 メイン会場受付モニター、基調講演待機スライド	○	○	— (企業名のみ)
広告掲載 プログラム	1ページ	1/3ページ	1/4ページ
テープカットへの参加（土曜）	○	○	○
ミニステージでのショートプレゼン	○	○	—
ネットワーキングやオリジナルツアー	相談可	相談可	—

※上記以外にご要望あればお知らせください

3-3. 申込み

申込方法：下記のURLより次頁の「サイエンスアゴラ2019協賛申込書」をダウンロードしていただき、必要事項を記載のうえ、事務局(agora@jst.go.jp)宛てに電子メールにてご送付ください。
<http://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

申込期限：

- ・ **プラチナ、ゴールド：**令和元年7月17日（水）
- ・ **パール：**令和元年8月21日（水）

※ 期限後も引き続き承りますが、特典の内容によってはご希望に添えない場合がございます。

問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 「科学と社会」推進部

サイエンスアゴラ事務局（山本、黒田、木村、今井）

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3 サイエンスプラザ

TEL：03-5214-7493 E-mail：agora@jst.go.jp